『世界の日本語教育』4，1994年6月

「見える」「見られる」「見ることができる」について

李　金　蓮*

キーワード：能力，性能，可能性，自発，推論

要　旨

「見える」「見られる」「見ることができる」は，みな「見る」という動詞の可能表現であるが，意味にはそれぞれ違いがある．「思われる」「感じられる」の意を表わす場合には，「見える」は自発的な傾向が強いが，「見られる」は推論的・判断的なイメージがある．これも両者の上述の違いの延長としてとらえられると思われる．

1. はじめに

① 空気が澄んでいるので，富士山が {見える．／見られる．}

② 東京タワーに上れば富士山が {見える／見られる} だろう．

『基礎日本語辞典』によると，この2つの文では，どちらを使ってもいいということである．しかし，どちらも使えるとはいえ，実際には意味上の違いがある．本稿では，こうした「見える」「見られる」「見ることができる」の違いについて述べてみたい．なお，※は，その文が誤用文であることを示す．

2. 能力可能

まず「見える」だけが使える場合をみてみよう．たとえば，

③ 生れたばかりの赤ん坊は目が見えない．

④ 猫は夜でも目が見える．

のように，人間あるいは動物の「視覚が働いて物を知覚できる」(小泉 1989：488)という意味を

* LI Jin Lian：山東大学外語教学部講師．

表わす場合には，「見える」しか使えない．それで，視力の検査などでも

⑤ コレ，見エマスカ？

と言うのがふつうで，

⑥ コレ，見ラレマスカ？

とは言わない．

このような「見える」は「能力可能」の「見える」と呼べるであろう．これは中国語に訳せば，「能看见」「看得见」となり，否定形の「見えない」は「看不见」となる．

3. 状況可能

冒頭の ① ② に戻ろう．このように「状況可能」を表わす多くの文では，両者を置き換えることができる．しかし，その意味・ニュアンスは違う．① ② や

⑦ 西側に窓があれば，富士山が {見える．／見られる．}

について，「見える」「見られる」を比べると，「見られる」は「何かを見る……意志や欲求を抱いた場合に，それを実現することが可能な条件が整った状況に身を置くことができるかどうかを問題にする際に用いられるのである」(国際交流基金 1982：45)．そして，「見られる」が表わす可能という意味は，「一般にかくかくの可能な状態が——発話の場を離れて——存在する」(寺岡 1984：277) ということである．これに対して，当人の意志にかかわりなく，その状況で自然に何かが目に入れば，「見える」を使うのである(国際交流基金 1982：45-46)．言い換えれば，「見える」が表わす可能という意味は，「その発話の場，時点で，具体的にあるものが視覚……によってとらえることが可能」(寺岡 1984：277) ということである．したがって，次の文では「見える」は使えず，「見られる」「見ることができる」だけが使える．

⑧ モナリザはルーブル美術館へ行けば，{見られる(見ることができる)．／※見える．}

⑨ 日本へ行ったら {富士山が見られる．／富士山を見ることができる．／※富士山が見える．}

これらは，「発話の場，時点で」そういうものが自然に目に映るかどうかという意味ではなく，まず「見たい」という意志があり，また，「美術館へ行く」「日本へ行く」が示す条件がととのったら，「見る」ということを実現することができるという意味である．したがって，この2つの文では，「見られる」「見ることができる」しか使えないのである．

これに対して，人間の意志と関係なく，発話の場・時点で，何かが目に映るかどうかを問題に

する場合には，「見える」しか使えない．たとえば，

⑩ さっきまでいた牛や馬が { 見えない．
※見られない．

⑪ 富士山に雪が積もっているのが列車の窓から { 見えた．
※見られた．

「見える」と「見られる」の中文訳も同じではない．中国語では，条件が具備されていることを表わす場合には，「可以」を使う(望月，高 1979：146)．したがって，「見られる」は「可以看见」「可以看到」と訳したほうが適切である．「能看见」「能看到」と訳してもいいが，「能」を使った場合には〈条件具備〉ということが「可以」ほど明瞭ではない(望月，高 1979：147)．⑩ ⑪ のような「見える」は「能看见」「能看到」と訳す．

以上のように，能力可能の場合も状況可能の場合も「見える」は，見ようとする意志をもたなくても対象が視覚に入ってくる意，「見られる」「見ることができる」は，見ようとする意志があることを前提として，それを実現することができる意であると，ほぼ整理することができるであろう．意志の有無が大きく関係しているのである．

なお，次の例文では「見られる」は状況可能とも受身とも解せる．状況可能と受身のつながりを示す例である．

⑫ この島ではしょっちゅう虹が見られる．

⑬ 北の方に筑波山が見られる．

これらは中国語では，

⑫′ 在这个岛上经常看到彩虹．

⑬′ 北面是筑波山．

のように訳すのが適切であると思う．日本語の受身文は，中国語に訳すとき主動文にしなければならない場合が多いが，ここでは，このことに触れない．

なお，また「見える」が状況可能というより自発といったほうがよい場合もある．

⑭ 母親の姿が見えた．

⑮ 星が見える！

⑯ 虹が見える！

この3つの文は，ものごとが自然に視野に入っているということを述べている．そのものごとを見ることができるかどうかという意味ではない．ただ，そういう景色・場面を描いている文である．したがって，自発とみなしたい．この類の文を中国語に訳すのは難しい．⑭ は

⑭′ 看到妈妈的身影了．

と訳すことができるが，⑮ ⑯ は

⑮′ 看到星星了．(“了”は語氣を表わす)

⑯′ 看到彩虹了．(同上)

と訳すと，原文のニュアンスが表われない．

⑮″ 呵，星星！

⑯″ 看，彩虹！

のように訳したほうがいいと思われる．

実は，多くの場合，「見える」は状況可能とも取れるし，自発とも取れるのである．たとえば，

⑰ 窓から富士山が見える．

では，「見える」は，窓から富士山を見ることができるかどうかという意味を表わすと考えてもいいし，窓から富士山が自然に目に映っているという意味だと思ってもいい．「見える」が表わす「状況可能」の意味は，多くの場合には，「自発」とつながっているのである．

4. 対象の価値を表わす「見られる」

「見られる」には，動作の対象である物に備わっている性質を表わす次のような用法もある．たとえば，

⑱ 見られたものではない．

のようなものである．この文の「見られる」は，その対象が「見る価値」があるという意味を表わす．この用法は「価値の被動」(金子 1980)とか「ものごとの性質」(金子 1980)を表わす「見られる」と呼ばれることがある．この場合には，「見える」も使えないし，「見ることができる」も使えない．久野暲氏は，この点について，次のように述べている．

「(4) a. コノ酒ハドウモ飲メナイ．

b. *コノ酒ハドウモ飲ムコトガデキナイ．

「飲メル・喰エル・聞ケル・イケル」等少数の動詞の「レル・ラレル」形が，熟語化して，直前の名詞句の属性を表わすのに用いられ得ることは周知の事実である．「この酒はまずい」……の意味での (4b)……の不適格性から明らかな様に，「デキル」には，この熟語的用法がない．」(久野 1983：149)

つまり，この場合には「見られる」しか使えないのである．⑱ の文は，中国語では，

⑱′ 不是可看的东西 / 没有什么可看的．

というように訳さなければならない．この文の中の「可」は，「可能」の意味ではなく，そのような「価値がある」という意味である．

5. 「見ることができる」と「見られる」

次に「見ることができる」について述べる.「見ることができる」は，連語的な可能表現形式である. これは，「見られる」とほぼ同様であるが，いつでも置き換えられるわけではない. 上述の対象の価値を表わす「見られる」は「見られる」しか使えない場合であったが，逆に，「見ることができる」のほうが自然な場合もある.

⑲ おげんはまちくらした弟を自分の部屋に見ることができた. (『嵐』)

この文では，「見ることができる」を「見られる」と言い換えたら，「おげん」が待ち暮らした弟にやっと会えたときのうれしい気持ちが表われなくなると思う. それは，おそらく，「できる」が，「他の形よりも可能の意味が強く明確である」(神田 1964: 89)からであろう.

このほかに，「見ることができる」と「見られる」との違いについて，神田寿美子氏は次のように述べている.

> この形は，連体修飾語として使われることが少ないが，これは意味が動作的であるためと，「……することができる」という長い表現形のためであろう. 次に会話文と地の文における使い方を見ると，「れる・られる」を付けた形と可能動詞はだいたい同じ割合いで使われているのに対して，「連体形＋ことができる」の形は，地の文に多く，会話文にはあまり使われておらず，文章語的なものである(神田 1964).

6. 「思われる」「感じられる」の意を表わす場合——「見える」「見られる」

「見える」「見られる」は，以上述べたように視覚的な感覚を表わすほかに，また，「それを受けて心で感じ取る心象映像の把握」(森田 1990: 1092)という意味も表わす. つまり，「感じられる」「思われる」という意味に転じる. たとえば，

⑳ 木の葉の陰影が人の顔に見える.

㉑ 月末になるとみんなお金がないとみえて，会社の食堂では安いものがよく売れる.

㉒ それについてのはっきりした定義のようなものはないとみられる.

㉓ リーチが7番目にあげている「主題的意味」は，当面の課題とは関係がないとみられる.

このような場合，「見える」と「見られる」には，どのような違いがあるのであろうか. この点について，北京日本学研究センターの10人の日本人の先生を対象にして，アンケート調査を行った. 調査の内容は，次の表に示す10の文に，「見える」と「見られる」のどちらを入れたらいいかというものである. 結果は表のようになった. なお，「○」はもっとも適切，「△」は可，「×」は不可を表わす. 数字は，その答えを選んだ人数である.

アンケート調査結果

文例 ＼ 人数	見える			見られる		
	○	△	×	○	△	×
1. よほどうれしいと～	10	0	0	0	0	10
2. どうやら梅雨も明けたと～	7	3	0	1	2	7
3. かつらをすると別人に～	9	1	0	3	5	2
4. 手紙が戻ってきたところを見ると，彼は引っ越したと～	10	0	0	1	2	7
5. 次の文は，一見，上記の観察と矛盾するかの如く～	9	1	0	2	2	6
6. 土器の技術的発展は，その後は，様式の変化だけにとどまっているように～	9	1	0	2	4	4
7. 漢字使用に～時代性	1	6	3	9	1	0
8. 見える，聞こえるの場合は，他の多くの自発表現と異なる様子が～	0	8	2	10	0	0
9. この想像上の動物にも中国彫刻の一典型が～	0	5	5	10	0	0
10. 語感にもとづく語の選択が行われたと～	3	5	2	8	1	1

表のように，「見える」と「見られる」の使い分けにはかなり個人差があるが，全体的にみれば，1～6の文は「見える」の使用度が圧倒的に高く，7～10の文は「見られる」の使用度が圧倒的に高い．3の「見られる」を ○ または △ とした人が8人いたが，これは受身としての解釈であろう．この10の文を2つのグループに分けて，分析してみよう．

1～6の文は，みな「入ってくる情報からおのずとそのように感じられることで，視覚的情報が本来である」(森田 1990)という意味である．

それに対して，7～10の文は，「現場にあって具体的な対象を直接視野に入れるのではない．その事柄がある面から窺い知られる，見て取ることができる」(森田 1989：93)という意味を表わす．つまり，前者は，自然にそういう感じがするという自発的な傾向が強いが，後者は，推論的・判断的なイメージがあると思われる．「感じられる」「思われる」という意味を表わす場合における，「見える」と「見られる」には，このような違いがある．実は，これは，第2節に述べた両者の違い，すなわち，「見られる」には「見る意志」を抱くという前提がなければならないが，「見える」は人間の意志にかかわりない，ということの延長としてとらえられそうに思われる．

もちろん，表からわかるように，個人差もあるし，多くの場合には，「見える」と「見られる」のどちらを使ってもいい．しかし，その意味とニュアンスは違う．すなわち，両方使える場合でも，「見える」には自発的な，「見られる」には推論的な意味合いが感じられるのである．

7. おわりに

以上，各面から，「見える」「見られる」「見ることができる」の意味上の異同について，簡単に述べた．中国語との対照には簡単に触れたが，あまり深く検討しなかった．これについては，今後の研究課題にしたいと思う．

参考文献

奥田靖雄 (1986)「現実・可能・必然(上)」，言語学研究会編『言語学研究会の論文集(その 1)——ことばの科学 1』，むぎ書房．

金子尚一 (1980)「可能表現の形式と意味 (I)——“ちからの可能”と“認識の可能”について」，『国語学論説資料 17』第三分冊，論説資料保存会．

神田孝美子 (1964)「見れる・出れる——可能表現の動き」，時枝誠記他編『口語文法講座 3　ゆれている文法』，明治書院．

久野　暲 (1983)『新日本文法研究』，大修館書店．

国際交流基金 (1982)『教師用日本語教育ハンドブック ④　文法 II　助動詞を中心にして』，凡人社．

寺村秀夫 (1984)『日本語のシンタクスと意味 I』，くろしお出版．

望月八十吉，高維先 (1979)『中国語学習のポイント』，光生館．

森田良行 (1989)『日本語の類意表現』：創拓社．

——— (1990)『基礎日本語辞典』，角川書店．